

RDPCheck 使い方

はじめに

リモートデスクトップ接続が可能かどうかをチェックするツールです。ホスト PC（リモートデスクトップ接続先の PC）で使します。

インストール

インストールは不要なので、RDPCheck の実行ファイルをデスクトップなど、任意のフォルダに置いてください。ダウンロードフォルダにあれば、そこから起動することも可能です。

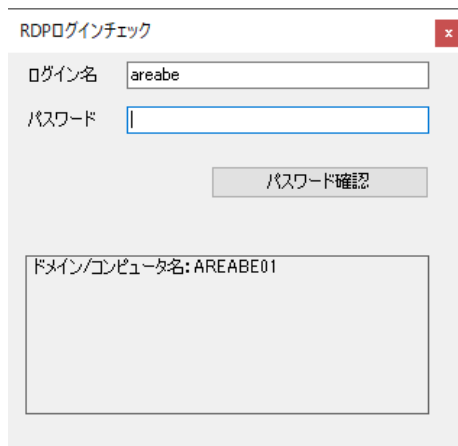
起動前に

このツールを使用する前に、リモートデスクトップで使用するアカウントで Windows にログインしてください。

RDPCheck を起動したアカウントがリモートデスクトップを使用できるかチェックします。

起動

RDPCheck のアイコンをダブルクリックで実行してください。以下のようなウィンドウが表示されます。ログイン名には現在ログインしているアカウント名が表示されます。



RDPログインチェック

ログイン名 areabe

パスワード

パスワード確認

ドメイン/コンピュータ名: AREABE01

この時、リモートデスクトップ接続が有効になっていない場合は「この PC はリモートデスクトップ接続が OFF になっています」と表示されます。この場合、「Appendix A リモートデスクトップ接続の有効化」の手順で有効にしてください。

有効化したら RDPCheck を一旦終了し、再度起動して確認してください。

また、現在使用している Windows アカウントが Microsoft365 アカウントの場合、「このユーザは Microsoft365 アカウントです、リモートデスクトップでは使用できません」と表示されます。この場合は別アカウントを作成し、そちらでリモートデスクトップを使用してください。

アカウントを作成したら、そのアカウントで Windows にログインし、RDPCheck を起動して確認してください。

パスワード確認

起動後はパスワードでログインできることを確認します。

パスワード欄に現在のアカウント（RDPCheck のウィンドウ上部に表示されているログイン名のアカウント）のパスワードを入力し、「パスワード確認」ボタンを押してください。

正しいパスワードであれば「ログイン成功：<ログイン名>」と表示されます。また、現在のアカウントがリモートデスクトップでログインできる設定になっている場合は「リモートデスクトップ許可されています」と表示され、禁止の場合は「リモートデスクトップ禁止設定です」の表示になります。

禁止の場合、「Appendix B 管理者に設定」または「Appendix C リモートデスクトップ許可ユーザ追加」の手順でリモートデスクトップを許可してください。（管理者ユーザはリモートデスクトップが許可されます）

ログイン失敗と表示される場合は以下の点を確認してください。

- パスワードが設定されていること
「Appendix D サインインオプションの確認」を参照して確認してください
- Windows Hello でのログインに限定されていないこと
「Appendix D サインインオプションの確認」を参照して確認してください
- PIN ではなくパスワードを入力していること
Windows Hello で設定している PIN とパスワードは別のものになります、パスワード入力欄に PIN を入れてもログインできません
- ドメインに参加している PC ではユーザ名に<ドメイン>¥<ユーザ名>を使用すること
RDPCheck 起動時に表示されている「ドメイン名/コンピュータ名」の文字列を<ドメイン>に指定してください
- ドメインに参加している PC でローカルアカウントを使用してログインする場合、<コンピュータ名>¥<ユーザ名>か .¥<ユーザ名>を使用すること
リモートデスクトップではなく、直接ログインするときの画面で「サインイン先」を確認し、コンピュータ名になっていない場合は .¥ を入力すると「サインイン先」が変わります、この状態でユーザ名を入力してください

マイクロソフトアカウントを使用する場合

マイクロソフトアカウントで Windows にログインし、RDPCheck を起動した場合、短縮された名前が表示されることがあります。短縮された名前、@以降を含めたメールアドレスのどちらでも正しいパスワードであればログインが可能です。

ただし、一回以上はホスト PC 直接（リモートデスクトップではなく）パスワードでログインしておく必要がありますのでご注意ください。

- マイクロソフトアカウントでも、AzureAD を使用する Microsoft365 アカウントは使用できませんのでご注意ください

Appendix A リモートデスクトップ接続の有効化

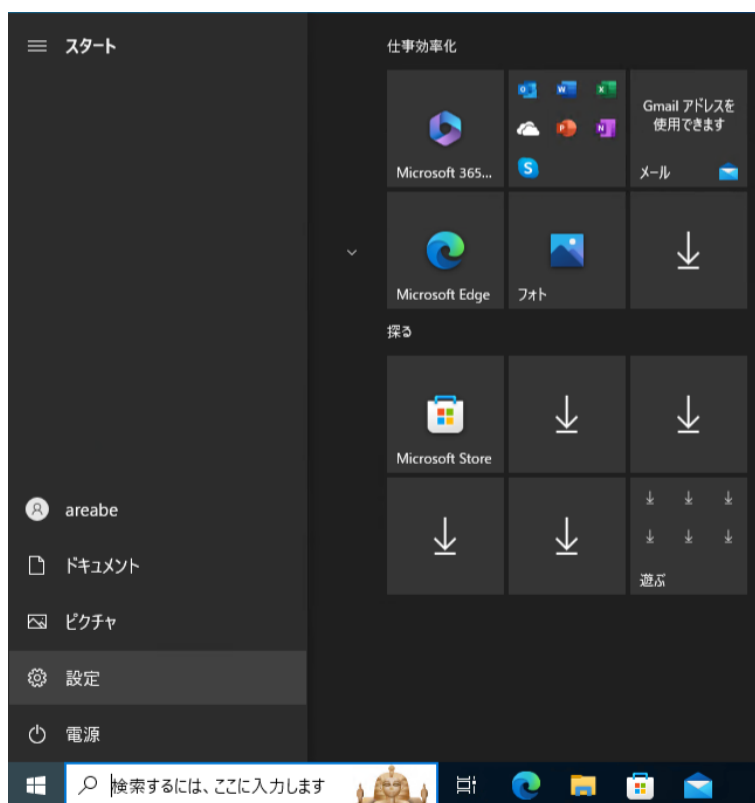
Windows 10 Pro に管理者アカウントでログインしている状態での操作を説明します。

Windows 10 Home ではリモートデスクトップ接続を有効化することができません。この場合は Pro にアップグレードする必要があります。

- リモートデスクトップ有効化には管理者権限が必要です。この操作は管理者アカウントでログインして行ってください

「設定」を開く

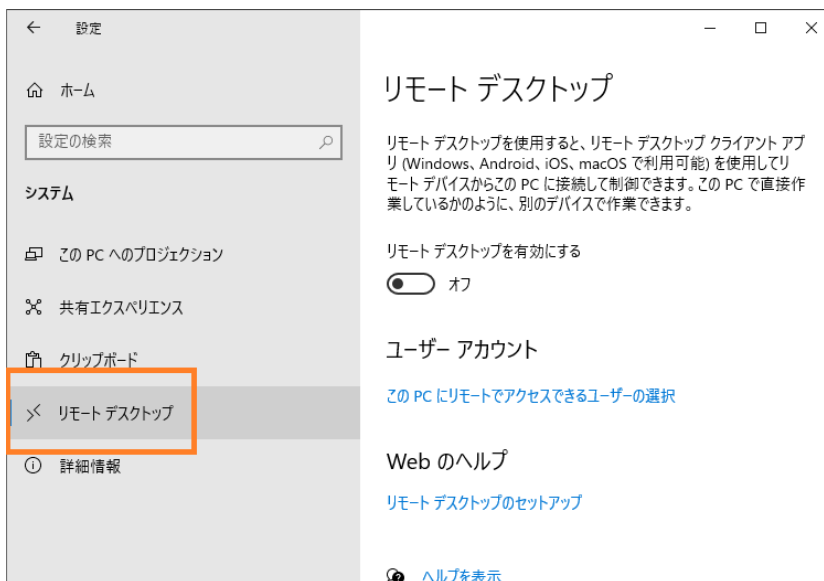
スタートメニューから「設定」を開きます。



続けて「システム」を選択します。



次は「リモートデスクトップ」を選択します

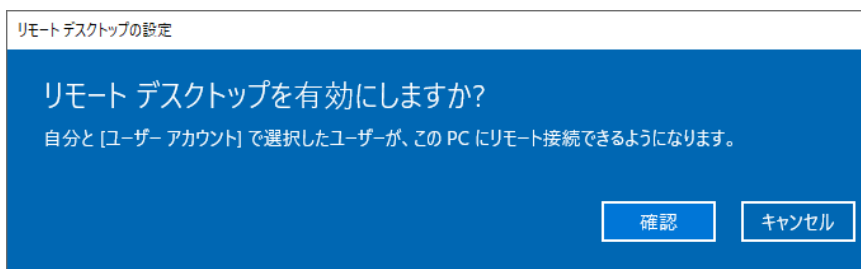


リモートデスクトップ有効化

「リモートデスクトップを有効にする」のスイッチを ON にします。



確認のウィンドウが表示されます。



「確認」 ボタンを押してください。

これで完了です。PC が自動的にスリープする設定になっている場合は、「設定の表示」をクリックし、スリープしないように設定してください。スリープしている間はリモートデスクトップ接続を受け付けません。



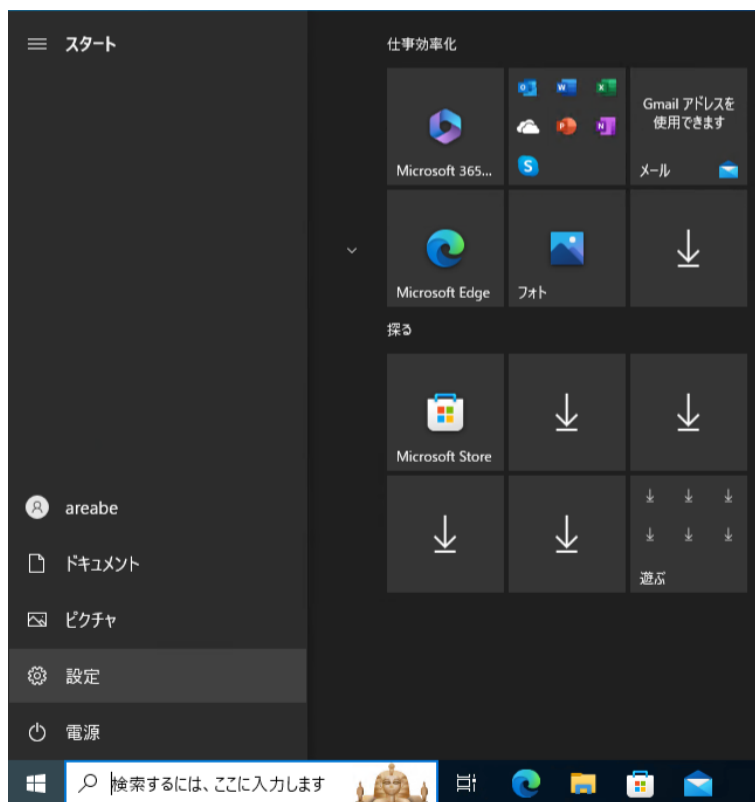
Appendix B 管理者に設定

リモートデスクトップはアカウントごとに許可・禁止が決まっています。管理者アカウントであれば許可されます。

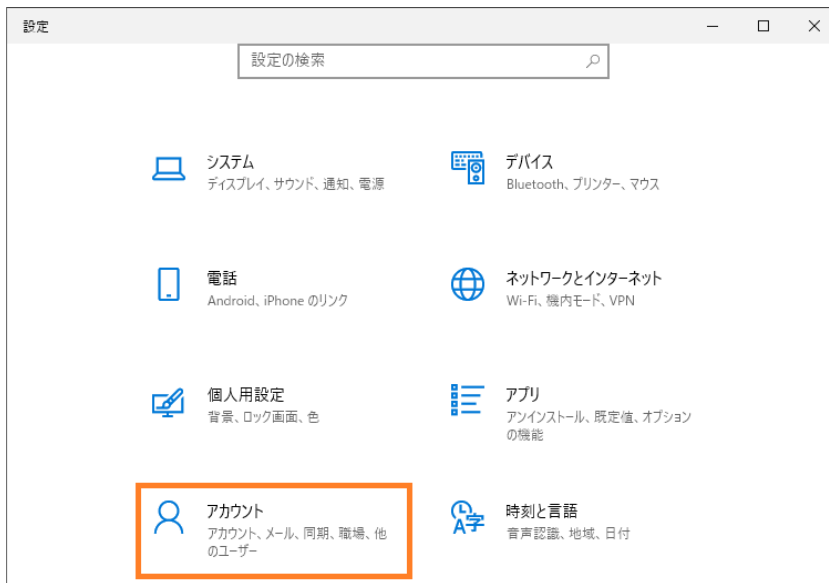
- アカウントを標準ユーザから管理者に変更するためには管理者権限が必要です。この操作は管理者アカウントでログインして行ってください

「設定」を開く

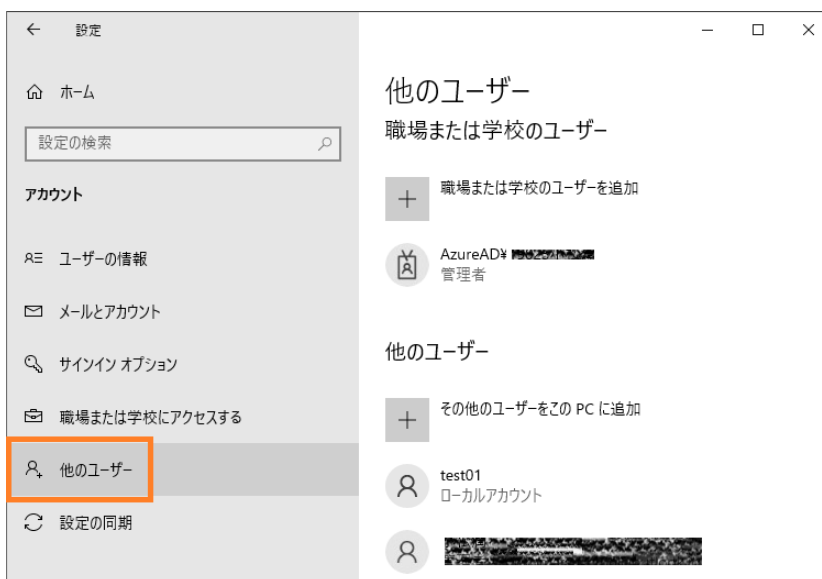
スタートメニューから「設定」を開きます。



続けて「アカウント」を選択します。



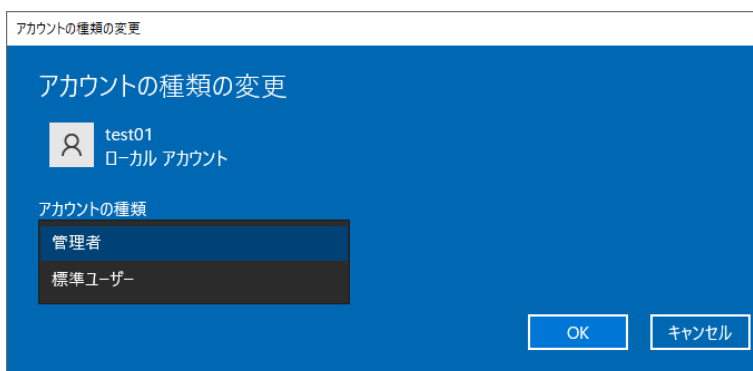
次は「他のユーザー」を選択します。



管理者にしたいアカウントを選択し、「アカウント種類の変更」をクリックします。



「アカウントの種類」を「管理者」にします。



「OK」をクリックすれば完了です。

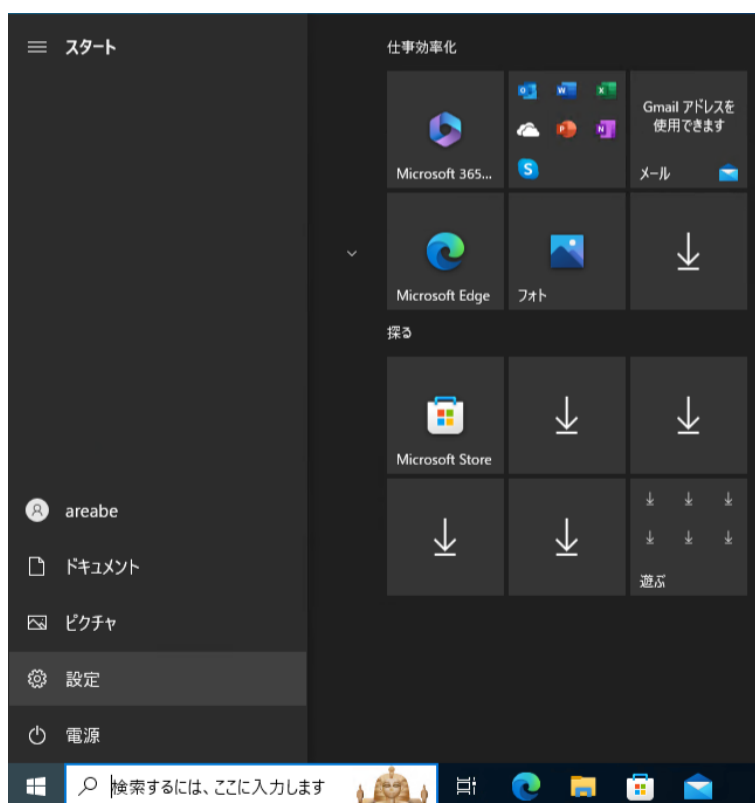
Appendix C リモートデスクトップ許可ユーザ追加

標準ユーザーのままリモートデスクトップを許可する場合は、リモートデスクトップ設定画面で許可します。

- リモートデスクトップ許可設定を変更するためには管理者権限が必要です。この操作は管理者アカウントでログインして行ってください

「設定」を開く

スタートメニューから「設定」を開きます。



続けて「システム」を選択します。



次は「リモートデスクトップ」を選択します

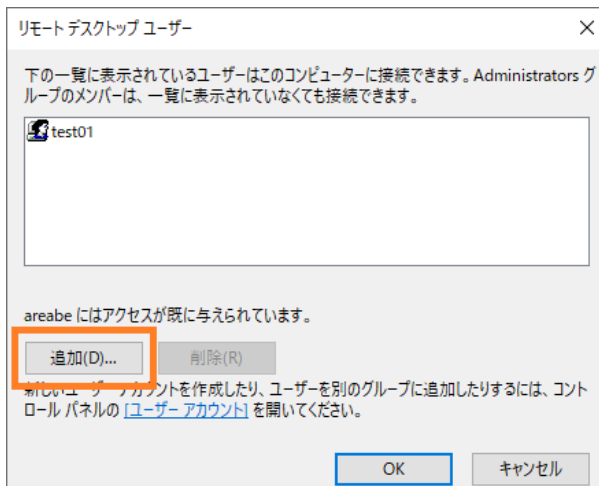


「この PC にリモートでアクセスできるユーザーの選択」をクリックします。



ユーザ追加

「リモートデスクトップ ユーザー」のウィンドウが表示されます。ここでは「追加」を押してください。



さらに次のウィンドウが表示されます。リモートデスクトップを許可したいユーザ名を入力し、「名前の確認」を押してください。

ユーザーの選択

オブジェクトの種類の選択(S):
ユーザー または ビルトイン セキュリティ プリンシパル オブジェクトの種類(O)...

場所の指定(F):
AREABE01 場所(L)...

選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):
[] 名前の確認(C)

詳細設定(A)... OK キャンセル

入力する名前はログイン時に使用する名前になります。表示名（フルネーム）ではないのでご注意ください。

わからない場合は、一旦該当アカウントでログインし、RDPCheck を起動してログイン名を確認します。ログイン名の欄に表示されている名前を使用してください。

確認できたら「OK」を押せば完了です。

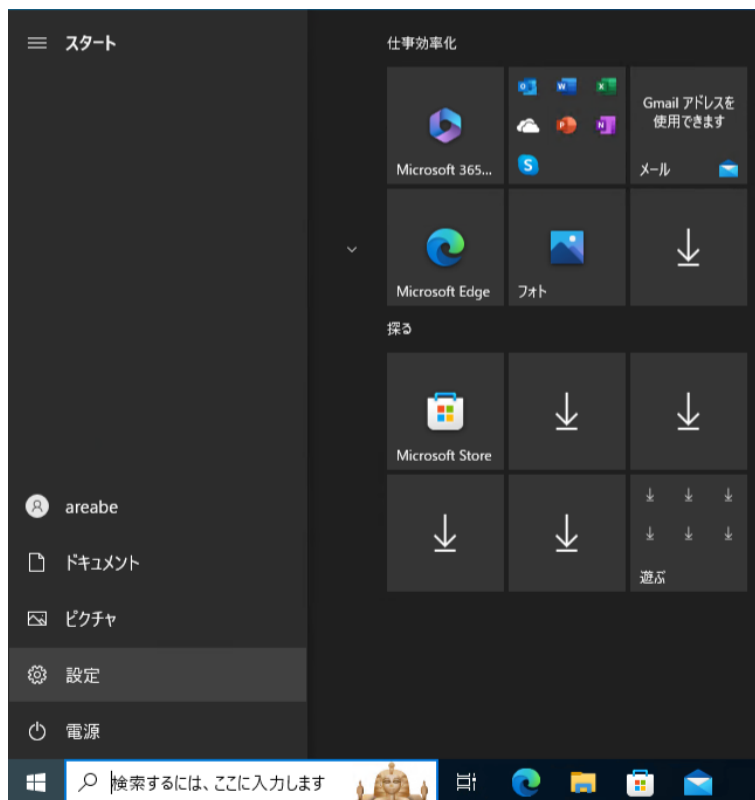
Appendix D サインインオプションの確認

サインインオプションの画面でパスワードが設定されていること、パスワードでのログインが許可されていることが確認できます。

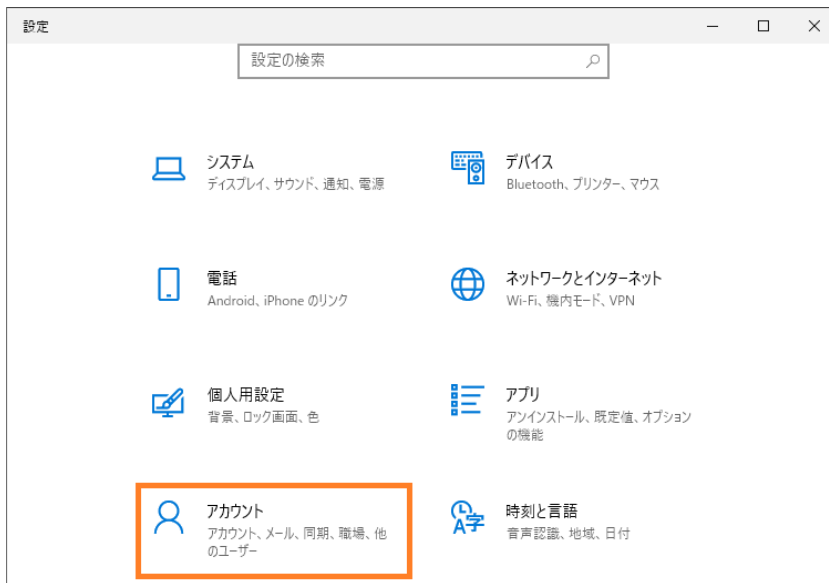
➤ この操作は確認したいアカウントで Windows にログインして行ってください

「設定」を開く

スタートメニューから「設定」を開きます。

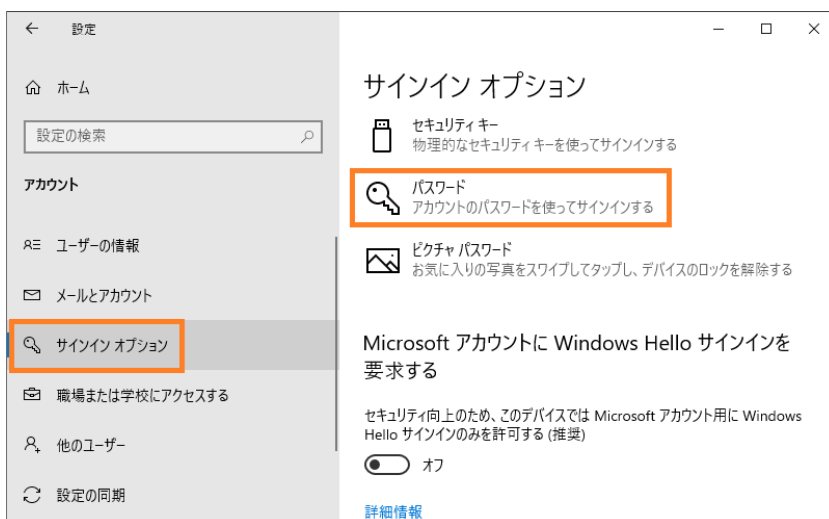


続けて「アカウント」を選択します。

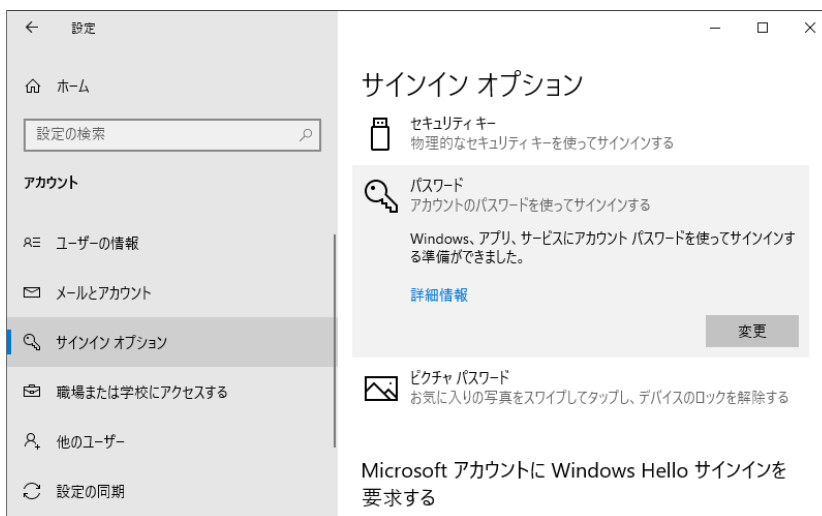


パスワード設定確認

「サインイン オプション」を選択し、「パスワード」をクリックしてください。

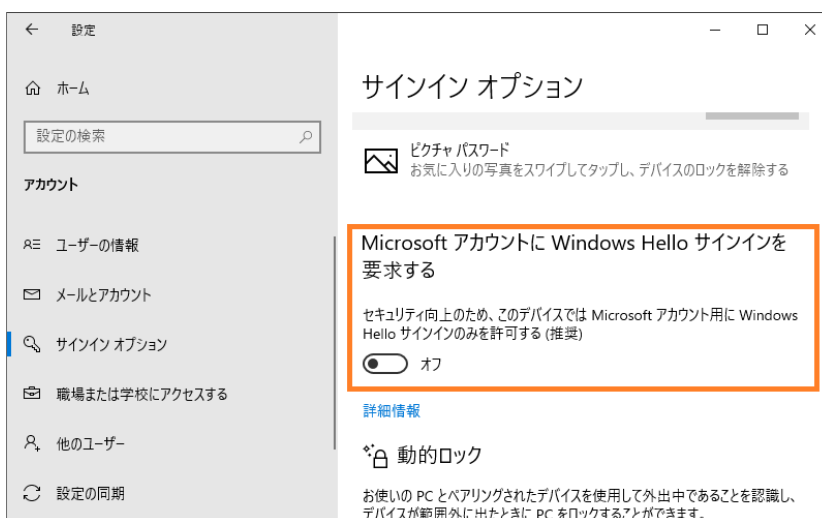


以下のように「準備ができました」の表示になっていればパスワードが設定されています。設定されていない場合は「追加」ボタンを押して設定してください。



Windows Hello でのログイン設定確認

マイクロソフトアカウントの場合、以下のように Hello でのログインを強制する設定があります。これを ON にするとパスワードでのログインができなくなりますので、OFF に設定してください。



Microsoft365 アカウントの場合、この設定が表示されず、常に ON になりますので、リモートデスクトップでは使用できません。